

日本人が使いがちなヘンな表現
&
カッコいい表現



1. 日本人が間違いやすい表現

	あなたが伝えたい表現	間違いやすい表現	コメント
1	He works <u>fast</u> . He works <u>quickly</u> . 彼は仕事が速い	× He works <u>fastly</u> .	“fastly”という言葉は存在しない。
2	I want to <u>go shopping</u> . 私は買い物に行きたい I'm <u>going shopping</u> . 私は買い物へ行く	× I want to <u>go to shopping</u> . × I'm <u>going to shopping</u> .	“to”と動詞の“ing”形は一緒に使わない。 “skiing(スキー)”, “hiking(ハイキング)”, “swimming(水泳)”なども同様。
3	7PM 7 o'clock 7時 7:30 = Seven Thirty Seven Thirty PM 7時30分	× 7PM o'clock × 7:30 o'clock	AM や PM を時間につけるのはOK。 例：7:30PM or 7:55AM ただし、AM や PM は“o'clock”と一緒に使わない。 また“o'clock”は、丁度の時間を表わすときにのみ、使う。 例：1 o'clock, 2 o'clock, 3 o'clock など。
4	Overtime 残業 I have been doing a lot of <u>overtime</u> . 私はたくさん <u>残業</u> をしている	Overwork 働き過ぎる × I have been doing a lot of <u>overwork</u> . 私はたくさん <u>過労</u> をしている →奇妙な表現。	“overwork”は通常、名詞としては使われず、動詞として使われる。「残業」の意味はなく、過度に働くことを意味する。 この場合の“over”は、“over (past) the finishing time=終業時間を過ぎる”という意味ではなく、“too much 多すぎ” or “hard 過度な”という意味。
5	Appointment 約束 I have an <u>appointment</u> to meet him at 3pm. 私は3時に彼と会う約束がある	Promise 約束 × I have a <u>promise</u> to meet him at 3pm.	どちらも日本語に訳すと「約束」となるために、間違いやすい言葉。 “promise”は“guarantee (保証)”や“commitment (誓い)”に近い意味。 人と会う約束の場合には“appointment”を使う。

	あなたが伝えたい表現	間違いやすい表現	コメント
6	Appointment 約束・予定 (アポ) I'd like to make an <u>appointment</u> with Dr. Ando. アンドウ先生とお会いするアポをとりたいのですが・・・	Schedule 予定・スケジュール ×I'd like to make a <u>schedule</u> with Dr. Ando.	この場合に“schedule”を使うのは間違い。 “schedule”は、1日あるいは週の全予定のこと “appointment”は、1日あるいは1週間のうちのある1つの時間の予定。つまり、スケジュールの一部。 例： ○I have a busy schedule this week. 私は今週、忙しいスケジュールだ。 ×I have a busy appointment this week.
7	Look at ～を見る Please <u>look at</u> page 123. 123 ページを見てください	Notice 気づく、目を留める ×Please <u>notice</u> page 123.	何かに注意を向けるように言いたいとき、“notice”はよく間違える言葉。

	あなたが伝えたい表現	間違いやすい表現	コメント
8	<p>Common よくある、共通の</p> <p>The flu is <u>common</u> this year. 今年インフルエンザが流行している</p>	<p>Popular 流行している、人気がある</p> <p>× The flu is <u>popular</u> this year.</p>	<p>“popular”は、ファッションや映画など、人々の間で人気があるものについて言うときに使われる。</p> <p>“common”は、たくさん起きていることについて言うときに使う。</p> <p>例： Inception is a popular movie. 『インセプション』は人気の映画です。</p> <p>Earthquakes are common in Japan. 地震は、日本ではよく起きる。</p> <p>お分かりのとおり、“popular”は、ポジティブなことによく使われる。</p> <p>一方、“common”は、ネガティブなことによく使われる。</p> <p>どちらを使えばよいかわからないときには、表現する対象が、ポジティブなものか、ネガティブなものかを考えてみよう。</p>
9	<p>Part-time job Chestnut (栗) Cook (コック)</p>	<p>《カタカナ英語》</p> <p>×アルバイト ×マロン ×コック</p>	<p>カタカナ英語を使うのは、ボキャブラリーを増やすのには役立つが、自分の語彙に加える前に、英語か他の外国語かをチェックしよう。</p> <p>それから発音にも注意。</p> <p>コック(“cock”)は、英語ではコック(料理人)ではなく「雄鶏」の意味。また、男性器を表わす下品な表現でもあるので、要注意！</p>

2. 日本人が混同しやすい表現

	表現①	表現②	コメント
1	<p>Hard 懸命に、頑張って He works <u>hard</u>. 彼は<u>懸命</u>に働く</p>	<p>Hardly めったに～しない He works <u>hardly</u>. 彼は<u>めったに</u>働かない</p>	<p>“hard (懸命に)”と、“hardly (めったに～ない)”は混同しやすいので注意。使い方を間違えると、意味がまったく違ったものになってしまう。</p>
2	<p>Late 遅く I've been studying for TOEIC until <u>late</u> every night. 私は毎晩<u>遅く</u>まで、TOEICの勉強をしている</p>	<p>Lately 最近 I've been studying for TOEIC <u>lately</u>. 私は<u>最近</u>、TOEICの勉強をしている</p>	<p>“late(遅く)”と“lately(最近)”も間違いやすい。 “lately”は、時間を表現するのには使われない。 そして、“early(早く)”の反対語ではないので注意。</p>
3	<p>I'm ...ed I'm bored. 私は<u>退屈</u>している I'm tired. 私は<u>疲</u>れている</p>	<p>I'm ...ing I'm boring. 私は<u>退屈</u>(な人間)だ I'm tiring. 私は<u>疲</u>れる(人間だ)</p>	<p>自分の感情(例：bored)を表わす場合と、自分の性質(例：boring)を表わす場合では、表現が違うので気をつけよう。</p>
4	<p>At the end 終わりに I cried <u>at the end</u> of the movie. 私は映画の<u>終わり</u>に泣いた</p>	<p>In the end ついに、結局 <u>In the end</u> I was able to save enough money to travel to do a homestay in America. <u>ついに</u>、私は、アメリカでホームステイ旅行をするのに、十分なお金を貯金することができた</p>	<p>どちらの文章も正しいが、使い方に注意。 “at the end”は、何かの終わりについて言うときに使う。 “in the end”は、「ついに」「長い時間がたってやっと」というニュアンスを表現したいときに使う。</p>

	表現①	表現②	コメント
5	<p>Be in time 間に合って</p> <p>“I arrived <u>in time</u> to catch the train.”</p> <p>私は電車に間に合った。</p> <p>“I got to the theater <u>in time</u> to see the beginning of the movie”</p> <p>映画が始まる時間に<u>間に合って</u>、映画館に到着した。</p>	<p>Be on time 時間通りに</p> <p>“Let’s make sure we start the meeting <u>on time</u>.”</p> <p><u>時間通りに必ず</u>ミーティングを始めよう</p>	<p>“on time”は、予定された時間より早くもなく、遅くもなく、時間通りに、という意味。</p> <p>“in time” は、始まる少し前に、という意味。</p>
6	<p>I don’t care if... ～しようと関係ない</p> <p>“I <u>don’t care if</u> you take a day off tomorrow.”</p> <p>あなたが明日、休暇をとっても、私には<u>関係ない</u></p>	<p>I don’t mind if... ～してもよい、気にしない</p> <p>“I <u>don’t mind if</u> you take a day off tomorrow.”</p> <p>あなたは明日、休暇をとつても<u>いい</u>ですよ</p>	<p>“don’t mind”は、何かを気にせず、嫌な思いではないことを意味するときに使う。</p> <p>“don’t care” は、まったく意に介さないことを意味する。</p>
7	<p>I’d like to make a claim. 請求をしたいのですが...</p> <p>例：自動車保険の会社へ</p> <p>I’d like to make a <u>claim</u> for car repairs.</p> <p>自動車の修理代（の保険金）を<u>請求</u>したいのですが...</p>	<p>I’d like to make a complaint. 苦情を伝えたいのですが...</p> <p>例：ホテルのフロントに</p> <p>“I’d like to make a <u>complaint</u> about the noise coming from the room next to me.”</p> <p>隣の部屋がうるさいので、<u>苦情</u>を伝えたいのですが...</p>	<p>“claim”と“complaint”の意味はまったく違う。</p> <p>“claim”は、保険会社やお役所等、当然受ける権利のあるお金を請求するときに使う。</p> <p>“complaint”は、商品やサービスなど、何かに満足できないときに、それを表現する際に使う。</p> <p>日本語で言う「クレーム」は、こちら。</p>

3. くだけすぎた表現 vs. 公式の場でも使える表現

	くだけた表現	公式な表現	コメント
1	I'm gonna... ～するつもりだ これから～する	I'm going to...	“gonna”は丁寧でなく、子供や若者が使う表現で、通常、大人は使わない。 友だち同士ならば OK だが、公式な場やビジネスでは使わない。
2	I wanna... ～したい	I want to...	上記と同じ。文章でのコミュニケーションでは使わない。
3	I gotta... ～しなければならない	I have to/ I have got to/ I need to ...	上記と同じ。この短縮形は、ネイティブ・スピーカーならばよいが、それでも、大人はめったに使わない。公式な場やビジネスでは使わない。
4	What's up? どうした?	How are you doing? How are you going? How are you?	“What's up?”は、非常にフレンドリーで、カジュアルな言い回しで、10代ならば“cool (カッコいい)”と思われる言葉。 しかし、20代以上では、このようなスラングは使わないほうがよい。

4. 使い方によってはアブない表現 vs. 安全な／洗練された表現

	アブない表現	安全な／洗練された表現	コメント
1	Do you have any questions? 何か質問はありますか？	I'm happy to answer any questions you have. 何かご質問があればお答えします	“Do you have any questions?” という言い方は、直接的で唐突な感じ。イントネーションがフレンドリーでない場合やリラックスしていない場合は悪い印象を与えることもあるので、注意が必要。
2	My name is ... 私の名前は～です	I'm ... 私は～です	フレンドリーな場面で“My name is...”を使うと英語の文法を教科書で勉強したばかり、という印象に。 また、驚くなかれ、“My name is...”という言い方は、AA (Alcoholics Anonymous=アルコール依存症患者自主治療協会) のようなグループセラピーの場でよく使われる。そして大抵の場合、その後に告白が続く。 例： My name is Jim, and I am an alcoholic. (僕の名前はジムです。私はアルコール依存症です) My name is Jenny, and I'm a shopaholic. (私の名前はジェニーです。私は買い物依存症です) フォーマルな感じが薄れるかもしれないが、“I'm”のほうがより一般的で、聞き手に対するアピール度も高い。

	アブない表現	安全な/洗練された表現	コメント
3	I disagree. 私は同意しません	I've never thought about it that way before. 今までそれについて考えても みなかった (結果的には同意する時) I've never thought about it that way before, however... 今までそれについて考えても みなかった。しかし・・・ (結果的には同意しない時)	不同意だということを単純にのべたのでは、失礼で非友好的になる場合もある。“I've never thought about it...”とすることで、自動的に同意しないのではなく、相手の言ったことを真剣に考えたのだということを示すことができる。
4	What did you say? なんと言いました？	Could you repeat that, please? Pardon me? Excuse me? もう一度おっしゃっていただけますか？	“What did you say?” は、とても直接的で、失礼な印象を与える場合もある。このフレーズを使うときには、イントネーションに細心の注意をすること。
5	I don't understand what you mean. あなたの言ってる意味がわかりません。	Could you explain that again, please? もう一度説明していただけますか？ Could you give me some more information, please? もう少し情報をいただけますか？	“I don't understand”と saying だけでは、あなたが何をわからないのか、なぜわからないのかが、相手には伝わらない。 もう一度説明してほしいのか、あるいは、もっと情報がほしいのか、具体的にわかりやすく伝えよう。
6	Oh my God! なんとということだ！	Oh my! Oh my goodness!	“Oh my God!”は、特にクリスチャンの人たちに対して、侮辱的な表現なので注意。

5. 著名人の名言、カッコいいスピーチ

	著名人	名言／スピーチ
1	Albert Einstein アルベルト・アインシュタイン	Logic will get you from A to B. Imagination will take you everywhere. 論理はA地点からB地点へと到達させてくれる。想像力は、どんな場所へでも連れていってくれる。
2	Mother Theresa マザー・テレサ	Kind words can be short and easy to speak, but their echoes are truly endless. 優しい言葉は、短く、簡単に言える言葉だけれど、その響きは、永遠に終わることなく続いていく。
3	Viktor Frankl ヴィクトール・フランクル	For the meaning of life differs from man to man, from day to day and from hour to hour. What matters, therefore, is not the meaning of life in general but rather the specific meaning of a person's life at a given moment. 人生の意味は人によって、日によって、時間によって異なるものである。それゆえ、重要なのは、一般的な人生の意味ではなく、ある人のある瞬間においての特別な人生の意味である。
4	Peter Drucker ピーター・ドラッカー	Management is doing things right. Leadership is doing the right things. マネジメントとは、物事を正しく行なうことである。 リーダーシップとは、正しいことを行なうことである。
5	Charlie Chaplin チャーリー・チャップリン	You'll never find rainbows if you're looking down. 下を向いたままでいたら、決して虹は見つからない。
6	Dale Carnegie デール・カーネギー	Most of the important things in the world have been accomplished by people who have kept on trying when there seemed to be no hope at all. 世界の重要なことのほとんどは、まったく希望がないように思えるときにも、挑戦し続けた人々によって実現されてきたのである。

	著名人	名言／スピーチ
7	William James ウィリアム・ジェームズ	Believe that life is worth living and your belief will help create the fact. 人生は生きるに値すると信じなさい。そうすれば、その信念が、その事実を創りだす助けになるだろう。
8	Barack Obama バラク・オバマ (サウス・キャロライナでの演説)	One voice can change a room, and if one voice can change a room, then it can change a senate, and if it can change a senate, it can change a state, and if it can change a state, it can change a nation, and if it can change a nation, it can change the world. Your voice can change the world. ひとつの声は、ひとつの部屋を変えることができる。もしひとつの声は部屋を変えることができるならば、議会を変えることができる。そして議会を変えることができれば、州を変えることができる。州を変えることができれば、国家を変えることができる。国家を変えることができれば、世界を変えることができる。あなたの声は、世界を変えることができる。
9	Steve Jobs スティーブ・ジョブズ (スタンフォード大学の卒業式にて)	“Stay Hungry. Stay Foolish.” And I’ve always wished that for myself. And now, as you graduate to begin anew, I wish that for you. Stay Hungry. Stay Foolish. 「ハングリーであれ。愚か者であれ」。それは私が常にそうありたいと願ってきたことです。今、卒業して新たな道へ踏み出す諸君に、それを願います。「ハングリーであれ。愚か者であれ」
10	Martin Luther King マーチン・ルーサー・キング (リンカーン記念公園にて)	So even though we face the difficulties of today and tomorrow, I still have a dream. It is a dream deeply rooted in the American dream. I have a dream that one day this nation will rise up and live out the true meaning of creed: “We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal.” 私たちは今日も明日も困難に直面しています。それでも、私には夢があります。それは、アメリカン・ドリームに深く根ざした夢です。いつの日かこの国が立ちあがり、そしてその信条の真の意味を実現させる日が来る、という夢が私にはあります。「すべての人々が平等につくられているという真実を、私たちは自明の理とする」という信条を。